

特定非営利活動法人 大分県芸術文化振興会議
通巻第126号 2008（平成20）年8月25日発行

[illegible]

～とびだして！ あたたかな心へ～

第10回大分県民文化芸術祭音楽部・随時開催

おおいたを彩る 音楽家たち

PROGRAM

- Ⅰ 打楽器アンサンブル バチカン・シンセサイザー・ミニピアノ
大分県立芸術文化短期大学音楽科・金器専攻学生
- Ⅱ 女性のピアノによる演奏 ピアノ／藤野 満希子 桐野 幸枝
（ピアノ・演奏者2名） オープニング自由曲 自由
- Ⅲ 合唱曲（TATA）発表 作曲／河野 光則
大分市立緑樹中学校音楽部 大分市立水中中学校吹奏部
- Ⅳ 弦楽四重奏・ピアノのアンサンブル ヴァイオリン／川原麻由希
チェロ／藤村 俊介
ピアノ／山田 美由紀
ピアノ・演奏者 第二・第三・第四・第五・第六・第七・第八

平成20年 11月30日(日)
13:00 開場 14:00 開演
ichiko の音楽ホール

チケット（全席自由）
◆一般……………2,000円
◆学生（学生・大中学生）……………1,000円
（大分市立・国府宮町立・大分県立学校生）

主催 大分県民文化芸術祭実行委員会

後援 大分市・大分県立芸術文化振興会・大分市文化財団・NPO 大分県民文化・CRF 大分県民文化

協賛 大分市・大分県立芸術文化振興会・大分市文化財団・NPO 大分県民文化・CRF 大分県民文化

●問い合わせ先 大分県民文化芸術祭実行委員会 事務局

[illegible]

第10回記念大分県民芸術文化祭の開幕行事は「秋に舞う 日本舞踊の祭典」と題して、10月5日(日)13:00からiichikoグランシアタで開催します。主催の大分県日本舞踊連盟は設立55周年、連盟会員をはじめ、日頃日本舞踊に親しんでいるこどもたちも舞台に参加します。全体の構成、振付を藤間章作氏に依頼、「弥次喜多」では古典をもとに開幕行事用に構成。ゲストには花柳流四世宗家家元 花柳壽輔氏を迎えます。

また、今回は文化祭の第10回を記念して、コンサート「おおいたを彩る音楽家たち」と美術展「おおいたの若い作家たち展」を開催。コンサートではピアニスト安宅薫さんとN響チェリスト藤村俊介さんを招いて、ヴァイオリニスト川瀬麻由美さんとのアンサンブルをお届けします。

平成20年度総会報告

大分第一ホテル8階「九重の間」において、6月17日(火)15:00、司会進行を久保木理事が担当、辛島理事の開会のことばで、平成20年度通常総会を開会した。法人として3年目となる今回、佐藤理事長からのあいさつ、ついで大分県企画振興部審議監小手川義光氏の祝辞をいただいた。

次に、団体会員166名、個人会員143名、計309名のうち、委任状出席者101名、出席者94名、定款の定足数を満たしており、総会が成立している旨、久保木理事より報告。議長に大分県吹奏楽連盟理事長工藤紘喜氏、議事録署名人に大分マンドリンオーケストラ会長宮吉寛氏、おおいた洋舞連盟湯原恭子氏を選出。また、今年度は役員改選期にあたるため、選挙管理人に柚野朝男氏を選出した。

議事は第1号議案から第3号議案まで平成19年度の事業報告、決算等について一括審議、承認された。また第4号議案、第5号議案、平成20年度事業計画、予算についても一括審議、承認された。次に第6号議案役員の選任について審議。選挙管理人柚野朝男氏から役員選考委員会を設置して役員選考にあたるという平成19

年度総会での議決に基づいて、役員選考委員会案を提案。案は特定非営利活動法人としての運営の安定を図るために現役員の再任と大崎輝彦氏、川上賢明氏、狭間久氏に新たに就任してもらい理事19名、監事3名が承認された。(別冊会員名簿をご覧ください。)

以上、議事はすべて承認され、終了した。

最後に大分県立芸術会館、(財)大分県文化スポーツ振興財団からお知らせ。大分県立芸術会館からは文化ホールについて、平成20年9月から(会場使用日は平成21年9月)の新しい予約手続きについて説明があった。

*新しい予約手続きについては、P8をご覧ください。芸術会館の利用にあたってわからない点がある場合は、芸術会館によく確認をしてください。

総会終了後、17:00から会員交流会を持った。会員ほか県文化スポーツ振興課のみなさんも参加いただき、和やかな交流会となった。



日田市民文化会館「パトリア日田」が開館しました (平成19年12月23日(日)開館)

日田の木材をふんだんに使用し、小鹿田焼きの陶土のタイルを床に使うなど、日田らしさがあふれる施設です。開館後はNHK交響楽団をはじめ、たくさんの行事が開催されています。また、12月には開館1周年を記念して、世界No.1の和太鼓エンターテインメント「TAO」のオールキャストによる公演が予定されています。



大ホール (やまびこ)

- 客席数 1,003席
- 舞台 間口18.2m 奥行14.5m

小ホール (せせらぎ)

- 客席数 351席
- 舞台 間口10.9m 奥行4~8mまで可変



※1階席は全て収納することができ、舞台と客席が平らなフロアー(23m×11m)に可変します。



ギャラリー

- 展示スペース 幅18m 奥行18m 天井高さ 3.5m

※収納式、可動間仕切を備え、部屋の2分割や展示形態に応じて間取りを変えることができます。



スタジオ1

- 面積 180㎡、大ホール主舞台と同等の広さ。
- ※壁の1面が鏡張り、演劇等の稽古場、音楽やダンスのリハーサル室としての利用のほか、小規模なコンサート、演劇等も行えます。

案内地図



交通機関のご案内

- JRをご利用の場合：JR日田駅から徒歩約7分
- 高速バスをご利用の場合：日田バスセンターから徒歩約7分
- お車をご利用の場合：大分自動車道日田インターから約10分

日田市民文化会館「パトリア日田」

〒877-0016 大分県日田市三本松1丁目8番11号
TEL.0973-25-5000

会員活動紹介

大分県民踊連盟

代表者：柴田 東

生い立ち・紹介

昭和41年の大分国体に備えて、県内の民踊団体を一本化組織を作ろうと昭和37年1月に設立。

めざすもの

地域社会に貢献するとともに技術の向上を目指す。

そのため日常努力していること

流派の発表会や大分合同新聞社の芸能花舞台に出演、地域の文化祭や各種イベントにも積極的に参加している。

活動内容

数年前から「伝統芸能ふれあい教室」(大分市芸能まわり舞台実行委員会主催)に協力しており、今年度は西の台小学校など5校で「民謡民舞教室」を実施する。

しかし何といっても、今年の活動の中心はチャレンジ大分国体・チャレンジ大分大会の開会式歓迎演技「おおいたの風」への参加。会員100名が学生や障害者、留学生らとともに、総勢700名で穂吉敏子さん作曲のジャズを踊る。国体の本番で、すばらしい演技で皆さんに勇気と感動を与えられるよう連日の酷暑の中、練習に励んでいる。そして、来年平成21年には大分県民芸術文化祭閉幕行事「民踊まつり」11月22日(日)richikoグランシアタ(予定)一を担当。国体後は休む間もなく準備にとりかかる。

アピールしたいこと

永年の実績が認められ、平成18年大分県知事表彰を受彰した。

あなたにとっての芸術・とは？

他ジャンルの方々との交流の場。勉強の場。

芸術にのぞむこと

身近な「芸術」のために、団体の代表者だけでなく、一般会員にもPRをしてほしい。



大分演奏家協会

代表者：堀口美香

生い立ち・紹介

平成15年、大分出身・在住の音楽家の演奏・留学等の活動を企画・支援するため設立した。

めざすもの

ひとりでも多くの人に演奏会へ足を運んで頂き、生演奏の良さを知ってもらいたい。

そのため日常努力していること

それぞれのスキルアップと様々なシーンでの演奏による啓蒙活動を行っています。

活動内容

- (1)オペラ公演の企画・運営…隔年
- (2)サロンコンサートの企画・運営
- (3)若手の育成と支援活動
- (4)福祉施設等への演奏ボランティア活動
- (5)海外留学の支援活動

アピールしたいこと

9月4日・5日の2日間、県立芸術会館にてオペラ公演を行います。第3回目の演目はヴェルディの人気作である「椿姫」です。今年も大分県出身・在住の音楽家、演奏家を中心に構成されており、一昨年同様、美術にも県内外で活躍中の「零のゼロ」代表秋満亘氏を起用しています。そして、今年は、舞踊にも大分出身で現在イタリア・フィレンツェに留学中の新村香織氏に出演していただくことになっており、また、イタリア人演出家とソリストを招き、国際色豊かな公演になっております。大分演奏家協会は、はじめてオペラ公演を観る方のためにチラシからパンフレット、公演当日と様々な工夫を凝らしています。オペラファンの方は勿論なのですが、今までオペラを観た事のない方には是非足を運んでいただきたいと考えております。

芸術にのぞむこと

若手の育成・支援と各芸術団体との交流のための中核になってほしいと思います。





アジア竹文化フォーラム
おおい事務局長
日本アートマネジメント
学会九州部会長ほか
さだかね ひるゆき
貞包 博幸さん

理事長 が聞く vol.4

芸振理事長
佐藤 朱音



自分の主観で物が言えることが芸術の発展につながる

佐藤 貞包先生は芸術文化短期大学を退官後、アートマネジメント学会をはじめ、芸術関係の学会員、県内外の大学での講師としてもご活躍中です。本日は大変お忙しい中からお時間を頂きました。ありがとうございます。

さて、さっそくですが、先生と大分との関わりは大分県立芸術文化短期大学においてになってからということでしょうか？

貞包 昭和50年に参りました。もともと芸短大は、朝倉文夫が大正10年に「九州の芸術の中心は大分だ」というようなことで国に具申書を出してできたという経緯があります。だから京都は別にして、全国でもいち早くできた。そういったこともあったからか、芸短大には東大の現役の先生が講師として来たりしてましてね。普通ありえないことですけど。

佐藤 私どもは、皆何かしらの文化活動に精進してきていますが、自分の活動している分野の中にとどまりがちです。今日は、先生の芸術活動に対するお考えなどを伺い、私たちが常日頃接している「芸術、文化」について別の視点から考えてみるきっかけになればと思っています。先生は大学で教鞭を執られるほか、いろいろな分野でご活躍とうかがっています。そのような広い視界から大分の芸術文化をずっと見てこられたわけですが、今の大学をどのようにごらんになりますか？

貞包 朝倉文夫のあとの宇治山哲平、高山辰雄など、皆故郷大分に深い愛着を持っておられましたよね。高山辰雄は住まいこそ東京だったが、高山辰雄ジュニア県美展にも尽力されて。そういう先人の故郷への思いを受け取るだけでなく、次に手渡していきたいですね。

私もこの35年「大分の芸術環境を良くしよう」の一念で大分の文化芸術を見てきました。私の思いはこの一言に尽きます。

大分の状況も随分よくなったと思います。芸術は自分の主観で判断するもの。文化環境が成熟してくると、皆が自由に芸術を楽しめる。近づいてきているのではないのでしょうか？大分の芸術文化の様子を知るために、芸振の文化

年鑑もを見せていただいていたいました。

佐藤 それはありがとうございます。大分県芸術文化振興会議自体は昭和39年設立ですので、歴史は古いです。当初は任意団体で県庁の中に事務局を置いての運営、県内の文化団体の連絡機関のような働きをしておりましたが、平成18年事務所を県庁から外に移すのを機に、NPO法人として独立したわけです。

補助金をもらっても、補助金にすぎらない

貞包 今は公益法人をはじめ、法人の転換期ですね。大学も独立行政法人です。個人的には何でも独立行政法人というのはよくないと思っています。特に教育はね。

とにかく「採算を考える。そして地域貢献という責務が課される。」教育だけをしておればよかった大学も変わりました。NPO法人は新しい形態ですが、どうですか。

佐藤 そうですね。これまでの芸振の活動を引き継いだ芸術文化団体の支援、芸術文化振興に加えて、芸術文化による心豊かな市民生活を目指す。と定款にも謳っています。文化活動だけしていた文化団体が変わりました。

貞包 芸術文化はまず市民レベルの希望があって動くのが理想ですからね。行政からの指示でするのはよくない。そういう意味では芸振がNPO法人になったのはいいことですね。

佐藤 これまでは県の補助金の範囲内での運営でよかったわけですが、NPO法人になってからは事務所も独立、芸振全体が根本から考え方を変えて取り組まなくてはなりません。なかなか切り替えに苦労しています。

貞包 行政から補助金をもらってもよいが、すがってはいけない。独立していなければならないと思いますよ。

佐藤 難しいですね。補助金を継続的に受けていると、頼ってしまいますから。

貞包 公的機関、県などの補助金が本当に市民レベルの芸術を支えてきたのか。考えてみる必要がありますね。最近“メセナ*”の助成金による文化事業が目につくようになりましたが、企業も社会の構成員だという認識にたつこと。そしてわずかでも社会に還元する。こ

こういう考え方が企業にも育ちつつあります。

ただ、経済がいいときは芸術にお金を出すのが、悪くなると出さない。企業の側からすれば難しいでしょうが、経営状況によって変わるのはメセナではありませんよ。だから企業の認識は市民が変える。企業の認識を市民が育てる。ということはまず市民が認識を変えなくてはね。

佐藤 私たちはもっと勉強しないといけませんね。

貞包 ヨーロッパでは席によっては1,000円以下でコンサートを聴ける。とても安い。ベルリンフィルなどは市民が出資していて、その恩恵を市民が受ける。安い金額でコンサートを聞くことができる。—自分たちが楽しむものを自分たちで支えるシステム。—どうでしょう、こういったことは新しい芸術会議の仕事のひとつになりませんか？

佐藤 そうですね。芸術には賛助会員というものもありますが、まだシステムと言えるものではありません。市民が支えたいと思うベルリンフィルくらい魅力的なものを提供していかないとなりませんね。支援をしたい市民と支援を待っているところの橋渡しができると素晴らしい。

ところで、先生が情熱を持って取り組まれていることについてお話を聞かせてください。

今こそ「アジアの資産」を活かすとき

貞包 “竹の文化”。簡単にいうと、プラスチック製品をやめて竹製品を使おうということになるのですが、「アジア竹文化フォーラムおおい」という会を今永清二先生、狭間久先生と作って活動しています。

竹工芸は日本の優れた伝統工芸です。竹という素材は活用範囲が広く、竹製品には美術館に飾っておくような芸術品から箸やざるといった生活用品まで、芸術の縮図をみることができます。私たちは伝統を守るという言い方をしますが、特に工芸においては、昔ながらのものや技法をかたくなに守り保存することが伝統を守るのではなく、昔から伝わってきたものを今の生活の中に活かすことが本来の姿なのです。

ところが、昭和50年以前には大分に竹工芸に携わる人が8,000人くらいいたのが、今は数百人程度だと聞いています。生活で竹製品を使うことが減ってきたことが大きな原因ですが、竹はアジアの資産。資源に恵まれない日本にあって、これだけ豊かな資源をもっと活かして暮らしたいものです。真に生活を楽しむとはどういうことか、人生哲学をきちんと持って、プラスチック製品でなく竹製品を使って、文化を守り、地域を守っていきたいですね。さらに自然環境にもよい。

佐藤 竹ひとつをとってもお話はつきませんね。

平成の革命は意識革命

貞包 少し話が飛びますが、日本ではコンサートにしても、ポケットマネーで楽しめる金額ではないですね。そのために生活からかけ離れた感覚を持ってしまう。そのためか日本では芸術は“高いもの”という認識があるでしょう。私は「床の間芸術」と言っているんですが、これは明治以後の認識の誤りも原因ですね。

佐藤 それはどういうことですか？

貞包 明治の頃、日本に「美学」という学問が持ち込まれた時、「芸術」に「日常生活とはかけ離れた、高いところにあるもの」という概念が当てはめられました。ここでまちがったんですね。

佐藤 ヨーロッパの文化にひれ伏してしまったということですか。

貞包 そうですね。欧米は物質の文化、日本は精神の文化。欧米の文化が持ち込まれ日本の文化とせめぎ合いを始めてから、日本人は新奇さ、便利さを追いかけすぎたように思います。欧米の文化を完全に受け入れてしまっただけではない。今は明治以後の日本人が選択したスタイルを変えるところにきている。

佐藤 こういう環境のなかで子どもが成長してきたわけですから、遅すぎるかもしれませんが、日本人としての感性、精神的な部分を子どもたちに伝える必要があるのではないのでしょうか？

貞包 うん。造形教育研究会の渡辺恭英会長、感性を育てるということで活動しておられますね。今の若者は感性が欠けている。というか、気持ちを形にすることができない。気持ちの爆発は芸術作品に注ぎ込めばいい。ところが、こどもたちは工作をしない。刃物があぶないから、けがをするからというのですが、何か違いますね。

教育にも改革が必要です。行政の財政破綻、環境破壊、いろいろな意味で今は転換期です。そこにNPO法人や独立行政法人が生まれる必要があったのです。これまでの人間の歴史にはいろいろな革命がありました。が、平成の革命は意識の改革です。

佐藤 お話を伺って、私たちはもっと学ぶ場がほしいと切実に感じました。専門分野でなく、それ以前の芸術に向き合う姿勢のようなもの。芸術も意識改革です。今日はありがとうございました。

※メセナ(mécénat)とは、企業が資金を提供して文化、芸術活動を支援すること。

平成20年9月から12月の芸術文化行事

開催日	行 事 名	会 場	主催者等
9月2日～7日	'08大分自由美術展	大分県立芸術会館	大分自由美術
9月2日～7日	第53回蒼土展	大分県立芸術会館	蒼土会
9月4日～5日	大分演奏家協会 第3回オペラ公演 オペラ「椿姫」	大分県立芸術会館	大分演奏家協会
9月8日～9月15日	日本刀名品展	大分県立芸術会館	日本美術刀剣保存協会大分支部
9月9日～15日	2008大分二紀展	大分県立芸術会館	大分二紀会
9月15日	第36回大分県音楽コンクール（予選）	大分県立芸術会館	大分県音楽協会
9月21日	みんなフェスタ2008	平和市民公園能楽堂	大分県民謡研究会萬謡会
9月23日	スウィングエコーズジャズオーケストラ40周年記念 コンサート穂吉敏子withスウィングエコーズ	iichikoグランシアタ	スウィングエコーズジャズオーケストラ
9月23日～28日	（社）新興美術院大分支部展	アートプラザ	（社）新興美術院大分支部
9月27日～28日	大分大衆演劇祭 花の響宴「花形座長・ 若座長大会」	コンパルホール	NPO法人福祉事業社和の会
9月28日	淡窓伝光霊流 大分詩道会 吟剣詩舞道 大会	大分文化会館	淡窓伝光霊流大分詩道会

10月5日	各流合同茶会	中津文化会館	中津文化協会
10月8日～13日	第11回新作能面展	コンパルホール	大分能面会
10月10日～13日	第27回アトリエどろんこ 遊美会絵画作品展	中津文化会館	中津文化協会
10月11日～13日	宇佐市民芸術祭	宇佐文化会館	宇佐市文化協会
10月12日	第36回大分県音楽コンクール（本選）	iichiko音の泉ホール	大分県音楽協会
10月18日～19日	各流派生花展	中津文化会館	中津文化協会
10月18日	観世流発表会	平和市民公園能楽堂	谷村颯々会
10月19日	男声合唱団南蛮コール第6回定期演奏会	iichiko音の泉ホール	男声合唱団南蛮コール
10月19日	歌謡部発表会	中津文化会館	中津文化協会
10月20日～25日	大分県俳画協会第31回作品展	県民ギャラリー	大分県俳画協会
10月24日	オペラ「ペトロ岐部」「吉四六昇天」ハイライト公演	大分県立芸術会館	大分県県民オペラ協会
10月24日	ピアノ演奏グループ「O'未来」 第23回定期演奏会	iichiko音の泉ホール	ピアノ演奏グループ「未来」 大分県支部
10月25日	第48回大分県三曲協会定期演奏会	大分県立芸術会館	大分県三曲協会
10月25日	第40回カサ・デ・ギターラ演奏会	コンパルホール	カサ・デ・ギターラ
10月25日～26日	室内鑑賞石展	中津文化会館	中津文化協会
10月26日	第45回民踊まつり	大分文化会館	日本民謡研究会九州支部
10月26日	第45回大分県児童文化祭	由布市挾間町 はさま未来館	大分県児童文化研究会
10月26日	第12回なかつ市民芸能祭	中津文化会館	中津文化協会
10月～12月 (2日間3回公演)	創作舞踊研究会第23回公演	かんたん倶楽部	創作舞踊研究会

11月1日～6日	国東町総合文化祭	アストくにさき	国東町文化協会
11月1日～2日	東九州音楽祭 フォーク・ロックコンサート	リル・ドリーム	中津文化協会
11月2日	第42回大分県俳句大会	コンパルホール	大分県俳句連盟
11月3日	玖珠町文化祭	くすまちメルサンホール	玖珠町文化振興会
11月3日	大分県シルバー芸能祭	平和市民公園能楽堂	（社）大分市シルバー人材センター 歌謡クラブSANSAN会

開催日	行 事 名	会 場	主催者等
11月7日～11日	全日本写真連盟 中津支部写真展	中津文化会館	中津文化協会
11月8日	第16回佐伯人形劇フェスティバル	佐伯市内	大分県人形劇サークル協議会
11月8日～9日	平成20年度第37回佐伯市芸術文化祭	佐伯市文化会館他	佐伯文化振興会
11月8日～9日	第38回津久見市文化祭	津久見市民会館	津久見市文化協会
11月8日	第10回さくら会秋の長唄・三味線演奏会	iichiko総合文化センター B1Fリハーサル室	さくら会（杵屋六絹也）
11月8日～9日	第5回中津Andie musik ピアノコンクール	中津文化会館	中津文化協会
11月9日	第16回三鶴千代の会	iichikoグランシアタ	花柳流三鶴千代の会
11月9日	「能楽体験講座」	iichiko総合文化センター B1Fリハーサル室	能を楽しむ会
11月11日～16日	第43回豊光会展	大分県立芸術会館	豊光会
11月12～16日	第17回キルトinおおい	アートプラザ	おおいのパッチワークキルト協会
11月15日	第13回大分県小中学生書道チャンピオン大会・予選大会	西本皆文堂3F	NPO法人大分県書写書道指導者連合会
11月16日	第40回大分県川柳大会・第3回ジュニア川柳大会	大分文化会館	大分県番傘川柳連合会
11月16日	中津民謡の祭典	中津文化会館	中津文化協会
11月18日～24日	第17回創元会大分支部展	大分県立芸術会館	社団法人創元会大分支部
11月19日～20日	第33回大分県高等学校総合文化祭豊肥大会	竹田市文化会館	大分県高等学校文化連盟
11月21日	第37回「グループUNO」コンサート	iichiko音の泉ホール	グループUNO
11月21日	第7回大分オペラアンサンブル公演	iichikoグランシアタ	大分オペラアンサンブル
11月23日	第39回関心流日本興道吟詩会大分県本部吟詩大会	別府市翠山荘	関心流日本興道吟詩会大分県本部
11月23日	豊洋歌人協会短歌大会	中津文化会館	中津文化協会
11月23日	第30回各流日本舞踊の会	中津文化会館	中津文化協会
11月23日～24日	創作舞踊研究会 第25回公演	かんたん倶楽部	創作舞踊研究会
11月23日	大分県太鼓連合チャリティーコンサート2008	由布市挾間町 はさま未来館	大分県太鼓連合
11月29日～30日	第37回佐伯市芸術文化祭	佐伯文化会館・汲心亭	佐伯文化振興会
11月30日	第43回中津市民音楽祭	中津文化会館	中津文化協会

12月1日～7日	97回チャール会大分秋季作品展	アートプラザ	チャール会大分
12月2日～7日	新潮流展'08	大分県立芸術会館	新潮流の会
12月3日	なかつ寄席「桂歌丸・桂吉弥」東西落語会	中津文化会館	中津文化協会
12月3日	プラス・エンジェルス2008	iichikoグランシアタ	(財)民主音楽協会九州センター
12月6日	大分大学邦楽部第31回定期演奏会	iichiko音の泉ホール	創明音楽九州支部
12月13日	第51回定期演奏会	iichiko音の泉ホール	大分大学マンドリンクラブ
12月14日	第32回大分第九の夕べ	iichikoグランシアタ	大分第九を歌う会
12月14日	「能楽の祭典」「松風」「放下僧」演能	平和市民公園能楽堂	大分市
12月20日	白井光義と2人の若手ピアニストによるピアノの夕べ	iichiko音の泉ホール	白鳥光ピアノ会
12月23日	白と黒冬のコンサートpart13	iichiko音の泉ホール	白と黒
12月28日	第33回大分県アンサンブルコンテスト	iichiko音の泉ホール	大分県吹奏楽連盟

9月から12月の芸術文化行事は大変数が多いため、大分県民芸術文化祭主催、共催行事は掲載しておりません。
文化祭総合プログラムをご覧ください。

新 入 会 員 紹 介

・団体会員

団体名	部門	代表者	事務局長	事務局所在地
ゆりかごバレエ研究所&BALLET DO	舞踊	尾野るり		〒870-0021 大分市府内町1丁目6-10 4階
後藤智江モダンダンススタジオ	舞踊	後藤智江	後藤直子	〒870-0026 大分市金池町3-1-1

・個人会員 日野直子、あべちかこ（舞踊）

退 会（申し出によるもの）

・団体会員

団体名	部門	退会年月日
ダンスシアターZ	舞踊	20.7.1

・個人会員 安部陽子

物 故 者

（名誉会員）木村成敏 （個人会員）加島友栄 ご冥福をお祈りいたします。

お 知 ら せ

◎芸術文化振興基金助成金の募集について

平成21年度芸術文化振興基金助成金の募集が予定（例年9～11月頃）されています。

助成をご希望される方は、県（文化スポーツ振興課文化活動支援班（TEL：097-506-2058））に募集案内（資料）の請求（電話予約）をしてください。

◎大分県民芸術文化祭実行委員会から

第10回記念大分県民芸術文化祭参加行事は現在も募集中です。

「総合プログラム」への掲載は間に合いませんが、「記録集」にて取扱いをさせていただきますので、平成20年9月1日から12月31日まで行事をされる団体の方は是非ご応募下さい。

第10回記念大分県民芸術文化祭総合プログラムがご入り用の方は芸振事務局までご連絡下さい。（団体会員の方には既に送付いたしました）

◎大分県立芸術会館文化ホールの予約について

受付場所：芸術会館事務所（電話不可。ただし問い合わせは電話可）

受付日：会場使用日の1年前の同日午前9時
（1年前の同日が休日・土・日曜日のときは、その日以後の最初の休日・土・日曜日でない日）

*希望者が複数の場合は抽選となります。

◎会費の納入について

会費をまだ納入されていない方はお早めに納入してください。よろしくお願いします。

◎芸術文化の行事、イベントの情報をお寄せください

会員の皆さんからの情報をお待ちしております。いただいた情報は芸振ホームページのイベントカレンダーで紹介するほか、（財）大分県文化スポーツ振興財団発行の機関誌EMOに挟み込みます。

「芸振イベントカレンダー掲載原稿」をご希望の方はホームページからお取りになるか事務局にお問い合わせください。

特定非営利活動法人 大分県芸術文化振興会議

〒870-0035 大分市中央町3丁目6-13 岩尾文具別館2階

TEL：097-536-0522 FAX：097-536-6188 E-mail：info@geishin.jp URL：http://www.geishin.jp/